

コンピューター教育・授業 さらなる進化・充実を

【教育長】 発達段階に応じた操作指導を行う



湯田 哲 議員

問 町では子どもたちに、最高の教育環境を提供するため、コンピューターによる授業を20年ほど前から実施してきたが、学校ごとの導入初年度、および作動開始月は。

教育長 小・中学校15校で合わせて397台のパソコンを授業で利用しています。現在の機器の導入時期は、古いもので館岩小学校の平成12年6月、新しいものは館岩中学校の平成18年7月です。

問 購入金額や年間リース料、年間のメンテナンス料の金額は。

教育長 館岩小学校、南郷第一、第二小学校および南

郷中学校の4校がリースで、その他の11校は購入で対応しています。購入金額が9568万円、リース料が年額358万円です。

問 この1年間でコンピューターを使用した各学年ごとの年間授業時間、その内容、およびそのときの講師は。

教育長 小学校では基本操作などの学習、各教科の調べものなどに利用し、中学校では情報に関する学習、各教科の調べもの、さらに学習サポート授業などに利用しています。

問 指導には担当の教員などが当たっています。

年間の授業時間数は、小学校低学年で2時間から40時間、高学年が12時間から76時間、中学校では25

時間から120時間となっています。

問 コンピューターを更新するには、さらに高額の予算が必要になる。現時点での対応策、年間経費の削減方法や計画などの検討が行われているか。

教育長 購入しているものとリース契約のものがあり、更新に当たっては、今

後の児童・生徒数の推移を踏まえ、パソコンのソフトや機器が授業に対応できるかなども考慮し、リースと購入の経費を比較しながら、更新計画の検討をおこないたいと考えています。

問 コンピューターを使用した授業を、今後どのように進めていくのか。

教育長 文部科学省の学習指導要領を踏まえ、情報社会に対応し、知識と技術子どもたちに身につけさせるため、発達段階に応じたコンピューターの操作指導を行います。

また学習面で、子どもたち自身がパソコンなどを活用できる機会を増やすこと



平成12年更新時の針生小学校コンピューター教室

により、情報活用能力の育成を図るとともに、インターネットを利用する際のルールやモラル、危険性などについての教育を引き続き進めていきます。

御蔵入交流館に 窓・換気システムを

【教育長】 空調・照明機器に多く頼る施設

問 御蔵入交流館の文化ホールは音響や規模など、高い評価を受けている。しかしその反面、保健センターと多目的ホールには、窓がないため必ず照明が必要であり、室内は外気が涼しくなった夜間でも、日中の余熱と必ず点灯する照明で室温が高く、エアコンを稼働しなければならぬ。省エネルギーなどを考えれば、窓と換気システムの設置が必要では。

教育長 多目的ホールは、夏場で特に身体を動かす団体の利用では、室温の高さが気になることも認識しています。しかし、多目的ホールは、小ホールとしての機能も持ち合わせ、講演会や演奏会の利用にも重点を置いた設備となっています。保健ホールは、乳幼児から一般までの健診施設として、それぞれの目的に合わせ設計されています。利用団体などすべての使用目的に満足いただける環境整備には限界があります。

こうした当初の利用目的から、空調機器や照明機器に頼る部分が多い施設であり、換気システムの改良や自然光をとり入れる窓の設置などにより、すべてが解決できるものではないと思

います。しかし今後は、利用者の方々と一緒に省エネルギー問題についても検討していきたいと考えています。

その他の質問
・ 役場のコンピューター処理システムについて
・ 温泉地質調査情報の公開について